



2021-2022 年度 藤沢ロータリークラブ週報

2021-2022 年度 RI テーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 2780 地区 ガバナー 田島 透
第 3 グループガバナー補佐 棕梨 兼彰



■創立 / 昭和 29 年 6 月 3 日
■第 68 代 会長 / 吉川 栄紀 幹事 / 廣島 純
■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL : 0466-25-4000 FAX : 0466-26-9292 E-mail : info@fujisawa-rotary.com
■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
■例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL : 0466-28-2111

NO. 3 第 3235 例会 2021 年 7 月 21 日 天候 晴れ

ロータリーソング「それこそロータリー」
「四つのテスト」 林 尚子 会員

《ゲスト・ビジターの紹介》

ゲスト：片山 清宏 様
(NPO 法人 湘南ビジョン研究所 理事長)
(紹介者：大野木 加代子 会員)
出水澤 紀子 様
(藤沢”愛”タウン誌「ふじさわびと」編集チーフ)
(紹介者：大野木 加代子 会員)

《ZOOM 出席者》

岡崎 記久子 会員
毛利 英昭 会員
キョン クンへ さん
(藤沢 RC 委嘱米山奨学生)

《会長報告》

暑い中の例会出席ありがとうございます。
開会式前ですが、オリンピックの試合が始まっているようで、ソフトボールでは、上野投手の力投

()内は計算に用いた会員数
+〔〕は Zoom 出席者

で、既に 1 勝したそうです。素晴らしいです。
来週 28 日、第 3 グループのボランティア活動で藤沢 RC も参加します。ご出席の皆様、よろしくお願ひ致します。
小島名誉会員より、引き続き名誉会員受諾のご連絡をお手紙でいただきました。
今日もよろしくお願ひ致します。

《幹事報告》

- ・END POLIO のオックスフォードシャツのメ切りが 7 月末となっております。申込みは事務局までお願ひ致します。
- ・7 月 28 日の第 3 グループ江の島ボランティア活動は、通常例会はございません。ご注意下さい
人数制限がありますので、移動例会ではなく、休会扱い、出席者はメイクアップと致します。
担当時間と会場等の詳細ご案内は別途お送り致します。ご参加の皆様、よろしくお願ひ致します
- ・第 19 回ロータリー全国囲碁大会のご案内が参りました。詳細は事務局へお問い合わせ下さい。

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
7月 7日	44(43)名	29名	14名	67. 44%	5名	34名	79. 07%
7月21日	44(43)名	23+[2]名	17名	53. 49%			

《ガバナー補佐報告》

28日の江の島ボランティア活動、よろしくお願い致します。藤沢RCは参加人数が多く、時間を分担していただけましたが、他クラブには応援ということで、毎朝テントの立ち上げと活動内容の確認に行くことになりました。日々の状況もお知らせできるかと思えます。

本日、END POLIO 実行委員会がこの後あり、早退させていただきます。詳細について、後日報告いたします。

《スマイル報告》

吉川 栄紀 会長

本日もお暑い中例会にご参加いただき、ありがとうございます。今年度脱の卓話者です。

片山清宏様、よろしくお願い致します。

椋梨 兼彰 会員

本日、所用で早退させていただきます。

広島 純 会員

片山様本日は、よろしくお願い致します。

出水澤様、ようこそ。

茂谷 浩子 会員

お誕生日祝い、ありがとうございます。49歳になります。

勝又 茂成 会員

暑いですね～

コロナにも暑さにも負けずに元気に行きましょう。オリンピックはおうちで観戦！

《小話 3分間スピーチ》

野口 捷代 会員

前年度は、皆様にご協力いただき、コロナ禍ではありましたが無事終えることができました。ありがとうございました。

江の島の現在の状況がどのようになっているかお話致します。橋にオリンピックの旗がずらっと飾られました。人出はいつもより多く、134号線から江の島には島民か許可証のある車しか入れません。歩行者は出入りできます。

セーリング競技会場の準備は着々と進んでいるようです。私の事業所のビル屋上は撮影の為、JOCに貸し出ししております、カメラが入っております。

私どものレンタルボートは、全て警備艇として貸出ししております。競技会場のある島の東側には行かれないようになっております。東浜側が遊ぶエリアとなっております。8月5日までこのような状況になります。ご注意ください。

《卓話》

「ブルーフラッグ」取得への挑戦
～湘南の海を守り、未来をつくる～

NPO 法人 湘南ビジョン研究所

理事長 片山 清宏 様

(紹介者：大野木 加代子会員)



本日は卓話の機会をいただきましてありがとうございます。ちょうど明日は「海の日」。また、今週末からは江の島で東京オリンピックのセーリング競技も始まるということで、今日は「海」をテーマにお話したいと思います。

海が好き

私は鶴沼生まれ、鶴沼育ち。小さい頃から海が大好きで、高校1年からサーフィンを始め、その後、競技スポーツとしても取り組み、年間300日以上海に入るとい生活をしていました。サーフィンの魅力はなんと言っても地球のエネルギーを感じ自然と一体になれること。海の中から見ると富士山や江の島の景色も息をのむほど美しいですね。私は、この素晴らしい湘南の海とともに生きてきました。

私にとって、学生の頃からビーチクリーンは日常の一つでした。サーファーとしてホームポイントの海をきれいにしたいと思うのは当然でしたし、小さい頃から海に育ててもらった自分としては、海への感謝という気持ちを表すことできる具体的な行動の一つでもあ

りました。だからビーチクリーンをずっと続けてきましたし、続けていけば海岸ごみをなくすことができると信じていました。

しかし、あるとき統計を見て愕然としました。湘南の海岸ごみの総量は年間 5,000 t。しかもこの数十年間、総量は全く減っていないのです。20 年以上、私は多くのボランティアの仲間とともにビーチクリーンをしてきましたが、私たちの活動は無意味だったのか。全身の力が抜けました。

海岸ごみについて調べていくと、海岸ごみの 7 割は川から流れて来て、その川ごみは街から流れて来ることが分かりました。だから、海岸をいくら掃除していても根本的な解決にはなりません。「発生源の川や街を含めた地域全体で、行政や企業と協力して取り組まないと解決できない」ということに気付き、こうした問題意識から私は、海辺の国際環境認証「ブルーフラッグ」の日本初取得を目標に定め、海ゴミ問題の解決を自分のライフワークに決めました。



ブルーフラッグ取得に挑戦

「ブルーフラッグ」とは、デンマークに本部がある国際 NGO FEE (国際環境教育基金) による認証制度です。

①水質、②環境教育と情報、③環境マネジメント、④安全性・サービスの 4 分野、33 項目の認証基準があり、これらの基準を満たしたビーチやマリナーはフラッグを掲げることができます。1985 年にフランスで誕生し、現在世界 47 ヶ国、4,671 ヶ所が取得。特にヨーロッパでの認知度は高く、ブルーフラッグを取得した海岸は「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」として、多くの人々がバカンスに訪れます。

ブルーフラッグ日本初取得の挑戦という「使命」に燃えた私は、2011 年 5 月、仲間とともに湘南ビジョン研究所を立ち上げ、「日本初のブルーフラッグ取得を湘南海岸から目指す」と宣言し、活動を開始。しかし、

周りは「湘南の汚い海でブルーフラッグを目指すなんて無理でしょ！」と冷やかかでした。

その中で唯一、鎌倉市の由比ガ浜茶亭組合の増田元秀組合長が賛同してくれました。早速、当研究所の仲間とともに、週末になると由比ガ浜に通い、ブルーフラッグ取得に必要な水質調査、安全リスク調査、バリアフリー整備、環境教育などを進めました。また、ブルーフラッグを紹介するフリーペーパーを作成したり、市内の小中学校や市民団体でブルーフラッグの講演をしたり、できることは何でもやりました。

そして、鎌倉市の松尾崇市長が「由比ガ浜で日本初のブルーフラッグを目指す」と記者会見で正式に発表。その後、活動を本格化させ、ついに 2016 年 4 月、FEE の国際審査委員会において「由比ガ浜海水浴場」がアジア初・日本初のブルーフラッグに認証されました。5 年越しの活動の成果が実り、これまでの苦勞が報われた瞬間でした。そして、今年 4 月には、地元「片瀬西浜・鶴沼海水浴場」が認証され、全国 5 箇所目のブルールフラッグビーチが誕生しました。



海の学び場「湘南 VISION 大学」の開校

由比ガ浜でアジア初のブルーフラッグを取得した後、私はもう一つのプロジェクトに取り掛かかかりました。海の環境教育に特化した市民大学「湘南 VISION 大学」の設立です。

実は、ブルーフラッグ取得を目指して活動する中で、限界だと感じていたことがありました。それはブルーフラッグ活動の中心は、海の専門家や行政、海岸関係

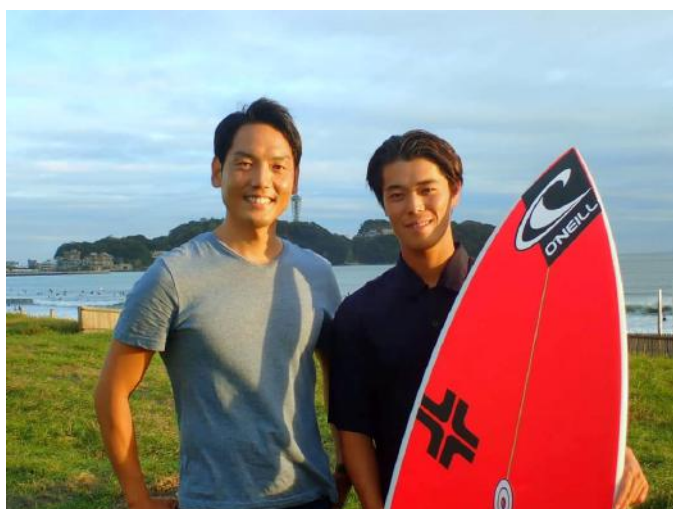
者などに限られ、一般市民の方々の参加が極端に少ないことでした。

「海に関心のある人たちだけが海の大切さを声高に叫んでもダメだ。多くの人にまずは海を楽しんで海を好きになってもらおう。そうすれば、海的环境保全に協力してくれる人が増え、ブルーフラッグ活動の裾野も広がっていくはずだ」。3年間の準備期間を経て、2018年5月、海の学び場「湘南 VISION 大学」を開校しました。

湘南 VISION 大学は、子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる市民大学です。キャンパスは「湘南の海」。

「海をもっと楽しもう！」をテーマに、ユニークなカリキュラムを揃えています。例えば、プロセラーと共に海上を周遊する「クルージング体験」、新しい海の楽しみ方を体感する「ビーチナイトピクニック」、元プロ野球選手による「ビーチでチャッチボール」、環境と健康をテーマにした「サンセットビーチヨガ」、真夏の夜の海でLEDライトを使う新感覚「ビーチナイトゴルフ」、湘南の食材を使った「シーフード料理教室」など、通常海の環境教育では思いつかない面白い授業がいっぱいです。

普段、海には縁遠い都会の女性やビジネスマンからも好評をいただいている、3年間で94講座、約3,453人の生徒に受講いただきました。大学の理念に共感してくれた生徒が受講後に運営スタッフや先生になるなど新たな動きもあります。



海を守り、未来をつくる

湘南ビジョン研究所を立ち上げて今年で10年目。ブルーフラッグ取得海岸は全国で5箇所に加え、さらに神奈川県内では、逗子市「逗子海岸海水浴場」と「リエラ逗子マリーナ」もブルーフラッグ取得を目指して準備を進めています。これまでの私たちの環境活動が認められ、2019年には神奈川県「かながわ地球環境賞」を受賞させていただきました。

私たちのこれからの目標は、まずは湘南一帯のビーチにブルーフラッグを掲げること、そして、SDGsの目標期限である2030年までに日本に100箇所のブルーフラッグビーチを誕生させることです。

市民活動の一人ひとりの力は限りなく小さいですが、その純粋な想いや熱意は伝播すると大きな力になり

ます。私たち湘南ビジョン研究所は、市民の力で海の環境問題を解決できると信じて、これからも、「海を守り、未来をつくる」のスローガンを胸に、たくさんの仲間とつながって、一緒に行動し、この素晴らしい海を守り、次世代に残していきたいと思っています。本日は、貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。



大野木会委員より片山様のご紹介



本日の料理
ハンバーガー！
初めてです！

